

郷土と母校への親愛を確認

べいりょうかい 「瓶陵会」 総会開催



懇親会では応援団も登場!!

30年ぶりの再会に感謝します

22年度瓶陵会総会実行委員長 吾郷浩之

島根県立大田高等学校の卒業生で組織する「瓶陵会」は、会員相互の親睦と母校発展に寄与することを目的としています。

この平成22年度総会が8月14日、市内のサンレディー大田で開かれました。

総会は毎年、母校卒業後30年になる会員が運営。今年度は昭和55年卒業生が担当し開催しました。



近藤前会長(左)と中村新会長(右)

総会で、瓶陵会会長として永年尽力された近藤浩平会長が辞任され、今年度から中村俊郎氏が会長に就任。また、大田高校が創立90年を迎えることから「90周年実行委員会」を設けることが決まりました。

総会終了後は、同会場で記念イベントが行われ、「大江高山神楽社中」と「土江

盛り上がった懇親会

懇親会には実行学年である昭和55年卒業生を中心に約180人が参加。応援団の音頭で応援歌と校歌を参加者全員で熱唱しました。この後、昭和55年卒業生

子ども神楽団」による石見神楽3演目が披露され、勇壮で華麗な舞が観客を魅了しました。その後、会場を大田バス

だけの学年交流会になり、実行委員による「ソーラン踊り」の演舞や高校時代の映像も上映され、笑いの渦に包まれました。

卒業後30年の月日を偲ばせる、同窓生の変わり果てた姿(?)と、30年ぶりとは思えない変わらない友情を確認しあい、会場は大いに盛り上がりました。

この総会に向け、我々55年卒業生は、昨年の秋から実行委員会を立ち上げ、準備を進めてきました。

開催まではいろんなことがありましたが、今思うと「やっつてよかった」と痛感しています。このような伝

メモ

大田高校は大正9年前身の「旧県立大田中学校」から数え、創立90年を迎えます。

昨年5月には待望の新体育館が完成しました。また、野球部は今年の夏、島根県予選で準優勝に。あともう少しで甲子園と、地元は大いに盛り上がりました。

生徒数は少子化により現在544人、1学年4～5クラスまで減少。OB会「瓶陵会」の会員は4月現在、25,459人です。

校歌が作詞・土井晩翠、作曲・山田耕筰であることも、卒業生の誇りの一つとなっています。

校歌

土井晩翠 作詞
山田耕筰 作曲

- 一、大地に根を据え三千餘尺
三瓶の名山虚雲を凌ぐ
見よ見よ向上理想の影を
健見よ 自然の教に學べ
- 二、わが郷わが校その名と共に
大田の流の清きを 見ずや
清かれ健見よ 未来の國の
運命なんらの肩のへ懸る
- 三、時世の荒波あらぶも何か
かなたに名に負ふ石見の湯に
洋々廣きは心の姿
望の影逐へ あ、わが健見
- 四、雪雲いくとせ同じき處に
學びて業成るあしたの榮
郷土のはまれを揚げつ、共に
忍ばん母校の親しき姿

統がなければ、学年全体の同窓会を開き、多くの友人たちが集まることはなかつたと思います。

瓶陵会役員や来賓をはじめ、開催にご協力いただいた皆様に対し、実行委員を代表してお礼申し上げます。ありがとうございます。

瓶陵会。そして母校・大田高校万歳!!